

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年 6月 1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	エム・エムブリッジ株式会社
所在地	〒733-0036 広島県広島市西区観音新町一丁目20番24号
代表者役職・氏名	取締役社長 池浦 正裕
担当者連絡先	電話：082-292-1111
	メール：fukuda.norihisa1@mm-bridge.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.mm-bridge.com/ https://gmc-mmb.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<ul style="list-style-type: none">・コンテナターミナルの整備、埋め立てに使用されるハイブリッドケーソンの製作・船着き場や係留施設として活用されるジャケット、浮棧橋の製作・海底トンネルで使用される沈埋函の製作・消波機能を発揮する浮防波堤の製作・サンゴ再生事業にも力を入れております。浮棧橋の防食のために採用されている「電気防食技術」によって発生する微弱な電流がサンゴの生育に寄与していることが判明しました。 サンゴの再生・生育を促進させる手法として、稚サンゴが着生しやすい電着基盤と着生したサンゴの成長を促進させる微弱電流を利用したサンゴ生育装置を開発し、10年以上に渡り、実海域において実証試験やモニタリング調査を実施しております。




3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 ✓社会 □経済	コンプライアンスを遵守する経営	・法令違反「0」
✓環境 ✓社会 □経済	サンゴに関する研究・開発を通して生物多様性、エコツーリズム、環境教育への貢献	・沖縄県石垣島での有性生殖によるサンゴ増殖実験の継続 ・長崎県高島をはじめとして全国各地にサンゴ生育装置を設置しエコツーリズムや環境教育への活用
□環境 □社会 ✓経済	有給休暇取得の推進	・年間16日以上/人

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1 人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・各部署に1名以上の女性を配属している ・毎年1名以上の新卒女性社員の採用している ・本社を有する広島県の「仕事と家庭の両立支援企業」に登録している ・第16回広島市男女共同参画推進事業者表彰を受賞 (「多種多様で充実した仕事と家庭・地域活動等の両立支援制度」と「近年における係長級の女性割合増加」が評価されたもの)					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・「ハラスメント防止ガイドライン」を作成し、全社掲示板「コンプライアンス(指針・啓発)」にも掲載している ・職場におけるハラスメントの相談窓口として専門的知見を有する外部の専門会社を起用している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8							16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・36協定違反が発生しないように勤怠管理を実施している ・毎週水曜日を定時退場日としており、ワークライフバランスの取り組みを推進している									8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・外国人労働者に対して差別等は一切なく、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・1回/月、安全衛生品質委員会を開催している ・1回/月、安全衛生協議会を開催している ・1回/月、安全パトロールを実施している			3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・1回/年、全社的にストレスチェックを実施している			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・各部署に1名以上の女性を配属している ・毎年1名以上の新卒女性社員の採用している ・本社を有する広島県の「仕事と家庭の両立支援企業」に登録している ・3名の障がい者が十分に活躍している					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・新入社員に対して、OJTだけでなく現場実習や社外の集合教育等の多種多様な教育を実施している ・新入社員一人ひとりに指導員を付けることで、公私両方の気軽な相談やマンツーマンでの指導を可能にしている ・三菱重工業(株)が主催する集合教育等により、若手社員、中堅社員、中間管理職、管理職といった各階層においても数多くの充実した教育を受けられる環境を整えている ・2回/年、コンプライアンス教育及びコンプライアンス委員会を実施している				4	5.5				8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5				8.5	10.2 10.3							

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・電解水素水整水器を設置している ・ビル内のトレーニングルームやシャワールームを休憩中や勤務時間外に利用することができる ・定期的に健康セミナーを開催している			3									8					
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・事務所や現場で発生する廃棄物を適切に分別・廃棄処理している										11.6	12.4 12.5		14.1				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・水光熱使用量を把握し、空調機の適切な温度設定等の推進によりエネルギー利用の効率化を進めている							7.3										
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・クリーンなエネルギーの一つである波力発電の開発を行い温室効果ガス排出の抑制や気候変動対策に努めている							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・浮桟橋の防蝕のために採用されている「電気防蝕」がサンゴの生育に寄与していることを発見し、サンゴの増殖について研究を進めている ・関連技術となるETVロゴマークを取得している ・関連技術となるNETISについて、登録している						6.6								15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9								12.4						
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001:2015(JIS Q 9001:2008)の認証を受けている ・安全衛生品質委員会を毎月開催している									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・浮桟橋の防蝕のために採用されている「電気防蝕」がサンゴの生育に寄与していることを発見し、サンゴの増殖について研究を進めている ・関連技術となるETVロゴマークを取得している ・関連技術となるNETISIについて、登録している						6					12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・巨大な地震や津波の対策として、「ダンパーブレース」「制振装置(TMD)」「耐風・風洞技術」「起振装置を用いた振動特性の計測技術」「直立浮上防波堤」「津波シミュレーション」等の技術の導入・開発を実施している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15	17	
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・企業様から提供頂くカレンダーと手帳を年末に社員に分配した後、どうしても余りが発生してしまうので、余ったカレンダーや手帳を活用する為に「広島ケナフの会 (http://www.kenaf.gr.jp/index.html)」へ寄贈している				4							11			14	15	17	
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・安全、安心なインフラを提供する為に、安全、品質、挑戦、成長等をより一層徹底すべく社方針を毎年策定し、周知している									8	9						17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・2回/年、コンプライアンス教育及びコンプライアンス委員会を実施している																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する専門部署として、総務部が担当している																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	・地域住民説明会やインターンシップ等の開催により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している																16 17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・4回/年、内部統制監査を実施しており、様々なリスクを特定・評価するプロセスを整備している																16	
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・地域住民説明会やインターンシップ等の開催、地域清掃の実施等により、CSRの考えに基づき責任を持った対応に取り組んでいる																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・事業継続計画(BCP)を策定し、社内周知している										9		11		13.1		16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・書類の電子化、ICTの活用、技術者の中途採用強化により、事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9						17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

(様式第4号)

令和6年7月 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 広島市西区観音新町一丁目 20 番 24 号
名称： エム・エム ブリッジ株式会社
代表者： 池浦 正裕
登録年月日： 令和 5 年 6 月 1 日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	コンプライアンスを遵守する経営	・法令違反「0」	登録日以降の法令違反「0」
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	サンゴに関する研究・開発を通して生物多様性、エコツーリズム、環境教育への貢献	・沖縄県石垣島での有性生殖によるサンゴ増殖実験の継続 ・長崎県高島をはじめとして全国各地にサンゴ生育装置を設置しエコツーリズムや環境教育への活用	・沖縄県石垣島での有性生殖によるサンゴ増殖実験の継続実施（令和5年度：3回実施） ・長崎県高島に続き、和歌山県串本町にサンゴ生育装置を新たに設置（令和6年6月）
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	有給休暇取得の推進	・年間16日以上/人	令和5年度実績 ・一般社員 16.9日 ・課長格以上 15.3日 ・現地工事部門 14.7日 ・全社平均 15.1日